

# 乙女高原ファンクラブ 2014年度

活動報告(ダイジェスト版) 2014.3.~2015.2.

## ■こんな1年間でした

1. 1年間で5名の入会者があり、現在、総入会者数は662名です。
2. 活動への参加者数はのべ630人でした(2004年度:811人, 2005:1200, 2006:1378, 2007:1344, 2008:1253, 2009:1176, 2010:834, 2011:758, 2012:590, 2013:660人)。
3. 鎌倉での講習会に参加後、環境省/日本自然保護協会によるモニタリング1000里地里山調査のアカガエル産卵調査を初実施。シーズン合計で35腹の卵塊を観察しました。
4. 第15回遊歩道作りを実施。暑さ対策でペットボトル茶を配りました。
5. 今年で4年目となるスマイル観察会を5月に2回、案内人・依田さんを講師に実施。
6. 6月、9月に特定のコードラートで時期をかえて草を刈る「草刈り実験」を麻布大学高槻研究室と協働で行いました。
7. 6・8・9月と年3回のマルハナバチ調査を行うのは12年目。
8. 乙女高原で牧丘第一、第二、第三小学校の子どもたちを案内しました。
9. 谷地坊主湿地の面積を測量しました。
10. 山梨市長にシカ柵設置の要望書を手渡しました。市としても取り組むことになり、県に助成金申請しました。
11. 9月、東京農工大学星野研究室と協働で藁撒き実験地の植生調査を行いました。
12. 11月23日に第15回目となる草刈りボランティアを実施。203名が参加しました。昨年に引き続き、(株)田丸と協力して刈り草を琴川ダム残土処分場に運び込んだり、ブナじいさんの根元に落ち葉をかけるキッズボランティアを行ったりした。
13. 第14回乙女高原フォーラムには55名の参加者があり、「乙女高原のシカ問題を調べてわかったこと」をテーマに、東京の高槻成紀さんのお話を中心に行いました。
14. フォーラムに関連して市民会館ロビーで『ようこそ乙女高原へ』展Xを行いました。
15. 次の団体から助成金・寄付金をいただきました。  
山梨市観光協会牧丘支部(1万円)、あいおいニッセイ同和損保(64,805円)、山梨市「乙女高原保護活動事業」補助金(7万円)、(株)田丸グリーン基金(10万円)、イオン石和店・マックスバリュ東海(9,800円)。
16. 計10回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催し、各行事の計画を立てたり、実施後の反省を行ったりしました。連絡会議では山梨県・山梨市の担当者も交え、企画を練ったり、実施後の反省を共有したりしました。
17. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行しました。
18. メールマガジンを年19回配信し、ホームページの情報をこまめに更新しました。
19. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続しました。
20. 遊歩道づくり、草刈りボランティア、乙女高原フォーラムは県・市との共催事業でした。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思っております。

## ■ 1年間のおもな活動の足跡

### ■ 3/16 2013年度定期総会



牧丘総合会館にて。出席 11 名。委任状 117 名。2013 年度の振り返りと 2014 年度の活動計画について検討。その後の座談会では内藤邦雄さんが「私のセカンドライフ」というテーマで話題提供後、意見交換。14:00-17:00

### ■ 4/20 アカガエル産卵調査



今年度から環境省と日本自然保護協会によるモニタリング 1000 里地調査に参画し、いくつかある調査項目の中で、アカガエル産卵調査を行っている。この日の調査参加者は 6 名。9:30-15:00

### ■ 5/11 第 15 回遊歩道作り



参加者 74 名。田丸グリーン基金や山梨ロータリークラブなど団体参加ありがたい。熱中症対策としてペットボトルお茶を配った。作業終了後、午後からスマレ観察会を実施。9:30-12:30

### ■ 5/11 第 1 回スマレ観察会



参加者 23 名。遊歩道づくりの午後、実施。講師は「フィールドガイドⅢスマレ・ウォッチング」編集代表の依田昇さん。ヨモギ頭と四季の森で 9 種類のスマレの花を観察。13:30-15:30

### ■ 5/25 第 2 回スマレ観察会



参加者 9 名。ヨモギ頭、湿地遊歩道などで 11 種類のミスレを観察できた。ヒゴスマレも見ることができた。10:00-14:30

### ■ 6/15 草刈り実験①



麻布大学高槻研究室との協働研究。参加者 9 名。草刈りの時期を変えた 10m 四方のコドラートを設定し、草刈り時期の違いによる植生への影響の違いを明らかにする。10:00-12:30

### ■ 6/16 谷地坊主群落の測量



植生調査等でお世話になっている林さんに、湿地の谷地坊主群落の面積を測量してもらった。約 1050 m<sup>2</sup>あることがわかった。10:00-12:00

### ■ 6/29 マルハナバチ調べ隊①

No photos

参加者 11 名。レンゲツツジは咲き終わり、アヤメも開花数が少なく、ラインセンサス調査結果は 2 頭だけ。午後はブナ爺への観察会に。終了後、豪雨。10:00-14:00

### ■ 7/4 他 小学校の案内

No photos

今年も牧丘地区の 3 小学校の児童に対して案内人が乙女高原の自然解説をした。7/4 牧丘第三小学校全校児童 19 名 + 教職員 6 名。案内人 4 名。8/28 牧丘第一小学校五年生 24 名 + 教職員 3 名。案内人 4 名。9/9 牧丘第二小学校五年生 7 + 教職員 2 名。案内人 2 名。

■8/3 マルハナバチ調べ隊②



参加者 13 名。午前中、雨上がりにラインセンサスしたが 1 頭も観察できず、午後から再度ラインセンサス調査をし、11 頭。この時期としては異常に少ない。  
10:00-14:00

■9/7 マルハナバチ調べ隊③

No photos

参加者 3 名。雨の予報だったが、曇時々雨という天気だった。ラインセンサス調査で 52 頭をカウント。  
10:00-14:00

■9/9 シカ柵設置要望を市長へ



ファンクラブ代表世話人・世話人 5 名で市役所を訪れ、市長に要望書を手渡した。観光課に仲立ちしてもらった。

■9/12-13 藁撒きモニタリング

No photos

参加者 2 名。東京農工大の星野研究室により、藁撒き工法を実施している琴川ダム残土処分場にて実験区の植生調査。藁撒きの効果を検証した。

■9/13 草刈り実験②



参加者 8 名。方形区内の植生調査をし、「6 月・9 月区」と「9 月区」の方形区内の草を刈った。草は琴川ダム残土処分場に運び、実験区の中に敷き入れた。  
10:00-12:30

■11/16 草刈りボラの準備

No photos

参加者 5 名。ロッジの掃除、キッズボランティアの準備、刈り取り区画の境界にテープ張りなど、草刈りボランティアの準備を行った。10:00-12:00

■11/23 第 15 回草刈りボランティア



参加者 203 名。キッズ班は林道の落ち葉を集め、ブナ爺さんの根元に入れた。草刈り班は草刈り後、草運び班と藁撒きに合流して草をゴミ収集車に積んで焼山へ。山梨ロータリークラブより解説板寄付。9:30-13:00

■1/12~2/1 乙女高原展 X



山梨市民会館ロビーをお借りした展示会。ファンクラブの活動報告パネル、谷地坊主の解説パネルなどを展示した。

■2/1 第 14 回乙女高原フォーラム



夢わーく山梨にて。「乙女高原のシカ問題を調べてわかったこと」をテーマに麻布大学野生動物研究室の高槻成紀さんをゲストに迎えて行った。参加者 55 名。  
13:00-15:30

## ■乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。  
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。  
2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。  
2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。  
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

### 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足

発足記念映画会 吉永小百合『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新游歩道開設。  
2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。  
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方  
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）  
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）  
2003.6 イタドリ刈りの刈り取り実験用コドラート設置  
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）  
2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲  
2003.10 土壌観察会（筑波大学土壌環境化学研究室と共催）  
2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始  
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞  
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）  
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）  
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）  
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出  
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞  
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）  
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート  
2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。  
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。  
2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。  
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドⅡ『マルハナバチ』を作成。  
2007.10 乙女高原案内人勉強会スペシャルツアーとして霧ヶ峰のインタープリテーションを体験。  
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）  
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドⅠ『お花たち』を改訂増刷  
2009.6 **新事業**・乙女高原の昆虫相調査スタート  
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選  
2009.11 第10回草刈りを記念し、多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品贈呈  
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート  
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。  
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。  
2011.5-6 3回のスマイレ観察会を実施。  
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。  
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。  
2012.1 乙女高原フィールドガイドⅢ『スマイレ』を発行。  
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。  
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確認する刈り取り実験。  
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。  
2014.3 環境省/日本自然保護協会のモニタリング1000里地調査に参加。アカガエル産卵調査を開始。

### 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp  
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ